

部活動の地域移行と地域スポーツ・文化環境の一体的な整備について

1 国の方向性

- (1) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備をすること。
- (2) 環境整備については、休日から進め、平日についてはできるところから取り組むこと。
- (3) 令和5年度から7年度までの3年間で改革集中期間として重点的に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すこと。

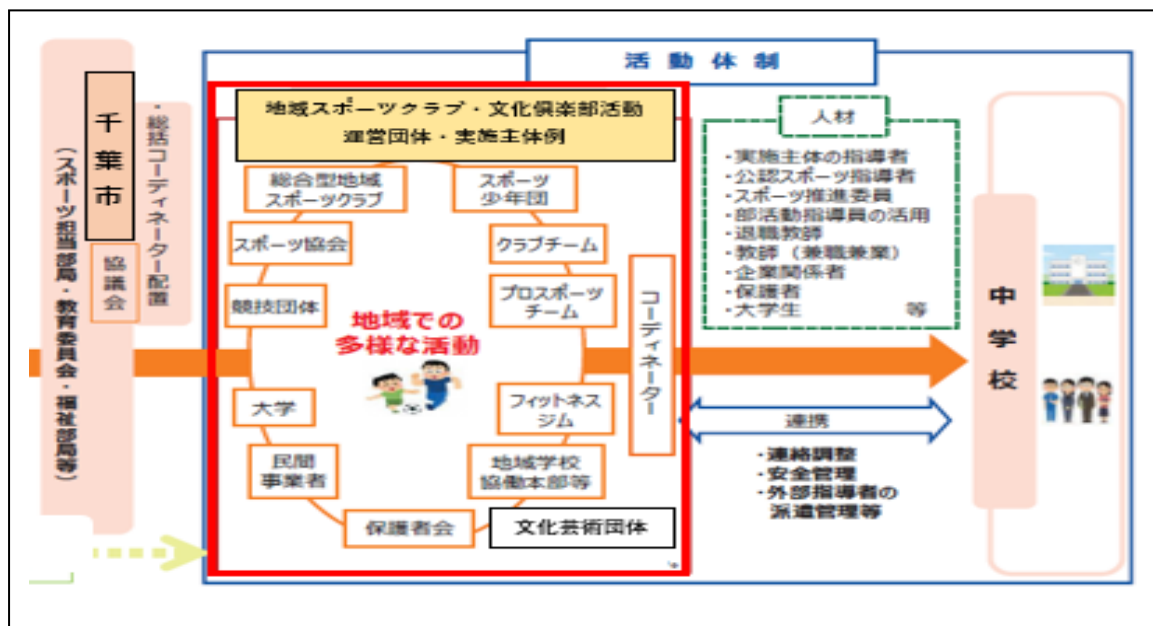
2 目的

- (1) 少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、新たな地域クラブ活動を整備する。
- (2) 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指す。

3 地域移行に向けて取り組むべき課題

- (1) 改革の方向性の検討
- (2) 新たなスポーツ環境の在り方検討
- (3) 地域におけるスポーツ団体等の整備
- (4) スポーツ指導者の質・量の確保方策
- (5) スポーツ施設の確保方策
- (6) 大会参加の在り方について検討
- (7) 会費の在り方について検討
- (8) 保険の在り方について検討
- (9) 教職員の兼職兼業についての制度設計

4 地域移行のイメージ



5 本市の動き

- (1) 令和3年度は、大椎中陸上競技部において地域移行に向けたモデル事業として地域のスポーツ団体（土気アスリートクラブ）に依頼し、3回の活動を休日に実施した。生徒・保護者からは肯定的な声が寄せられている。
- (2) 令和4年度は、大椎中学校陸上競技部、サッカー部、バドミントン部、越智中学校バドミントン部を対象にモデル事業を実施。併せて拠点校方式（複数校合同による活動）によるモデル事業も実施予定。対象校、実施主体は調整中。

モデル校及び対象部活動	期間
大椎中陸上部	R4. 11～ R5. 3
大椎中サッカー部	R4. 12～ R5. 3
大椎中バドミントン部	R4. 12～ R5. 3
越智中バドミントン部	R4. 12～ R5. 3